

## 6年次の数学の授業風景 — 不等式の入試問題 —

今号では、**6年次（高3）の数学科**の授業を紹介します。5月15日の6限に、**理系の数学**の授業を見学しました。**不等式に関する大学入試問題**を生徒が解き、それを担当の増山先生が質問しながら解説する授業でした。その解説の際に、数学関数グラフ作成ソフト「**GRAPES**（グレープス）」を駆使していました。関数グラフが条件によって動く様子を見て、生徒たちは問題の意味するところを体感していました。「**数学的感性**」を磨くという意味で、これも**AAL（アート・アクティブ・ラーニング）**だと思いました。担当の増山先生は、数学を学ぶことによって「**思考することの楽しさ**」「**論理がつながって出来上がった結論の美しさ**」を感じて欲しいと言っていました。

2018年5月12日付けの「**週刊東洋経済**」の特集「**A I 時代に勝つ子 負ける子**」の中で、数学を学ぶことの重要性が書かれていました。日本もA I時代に入り、理系・文系にかかわらず数学が非常に大切な時代が来ました。

今日の授業を見ていると、数学には結論にいたる**プロセス**が多くあることが分かりました。また、**発想力・論理的思考力**が問われることが分かりました。それは、現代の多くの仕事でも同じことが言えます。まさに「**数学的思考力**」が大切な時代なのです。

皆さんは、「**何のために数学を学ぶのか**」ということをもう一度考えてみてください。先生にも聞いてみてください。友達とも対話してみてください。私は、中学・高校時代に好きな科目は「**社会**」「**数学**」「**理科**」でした。大学は文系で**考古学**を学び、社会科の先生になりましたが、今でも仕事をする上で「**数学的思考力**」は、役に立っています。

以上、今号は、少し固い話になりましたが、日々頑張っている生徒の皆さんへの「**応援のメッセージ**」だと思ってください(^o^)

